

謹啓 秋晴の候、ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

貴台には、平素から交通安全活動を始め、警察行政の各般にわたり、並々ならぬ御高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、九月二十一日から十日間にわたり実施されました秋の全国交通安全運動では、関係機関・団体、地域・職域の皆様方の御協力をいただきながら、「子供を始めとする歩行者の安全と自転車の安全利用の確保」や「高齢運転者等の安全運転の励行」など、四つの重点を基本として、各種対策に取り組んで参りました。

運動期間中、都内では残念ながら二名の方が交通事故の犠牲となりましたが、発生件数、負傷者数は昨年と比べて減少するなど、一定の成果を得て運動を終えることができました。改めて、貴台の力強いご支援に深く感謝申し上げます次第です。

しかしながら、都内における交通事故情勢については、依然として死者数が増加傾向にあり、予断を許さない状況が続いております。

警視庁では、「世界一の交通安全都市TOKYOを目指して」をスローガンに掲げ、都民が安全・安心を実感できる快適な交通社会を実現するため、高齢者や幼児・児童などの歩行者の安全を確保するため、横断歩道は歩行者優先であることを広く呼びかけるなどの各種諸対策を強力に推進し、悲惨な交通事故を一件でも減らすよう、引き続き努めて参ります。

貴台におかれましては、新型コロナウイルス感染拡大により大変厳しい社会情勢ではございますが、引き続き交通安全対策に対する、一層の力強いお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

まずは略儀ながら書中をもって御礼申し上げます。

謹言

令和二年十月

警視庁交通部長

直江利克